

行事報告書 (研修)

報告者： 大地 祥子

行事名	甲山森林公園・研修会
実施日時	平成27年4月9日(木曜日) 10時～15時分 天候：曇り後晴れ
場所	甲山森林公園内
テーマ	甲山森林公園の早春の植物観察
講師	児玉勝久講師
参加者数	38名
内容 (項目と概要)	<p>新入会員を迎え、本年度初回の研修会を行った。</p> <p>児玉講師による今月の樹「ヒサカキ」の説明では木々が芽吹きだす頃開花し、ガス漏れのような匂いを放つ印象深い木である。図鑑によると雌雄異株とされているが、雄花と雌花の他に両性花がある雑居性雌雄異株で又いろいろな条件で性転換もすることも知られている。</p> <p>次に「春の樹木の生き様」についてプロジェクターを使い詳しい講義を受けた。</p> <p>その後野外観察に出かけた。コースは(管理事務所～西入口～野外ステージ～彫刻の道～展望台～みどり橋～管理事務所)</p> <p>コバノミツバツツジ、ヤマザクラ、ザイフリボク、クサイチゴ等は花の盛りを迎えていた。エゴノキ、ナツハゼ、アカメガシワ、ネジキ等は展葉が始まっている。ウラジロノキの葉は裏面に綿毛が密生し白く目立つ。</p> <p>コナラは葉の展開(葉に絹毛がある為灰白色)と雄花序は一目でそれと分かる特徴を持っている。</p> <p>アラカシ等は長枝の一個の芽から一本のシュートを展開し、枝分かれしない。又ドウダンツツジは一個の芽から数本のシュートを展開する様子がよく分る。ハナミズキやヤマボウシは仮軸型伸長をしている。</p> <p>カナメモチ、マルバアオダモ、イヌザクラ等は展葉と花序の蕾を見ることが出来た。</p> <p>イロハモミジは雄花と両性花には翼が形作られていた。</p> <p>ニセアカシアの陰芽は三つに裂け目が入り芽がでてくる所をまじかで見ることができた。</p> <p>昼食後のミニ研修は村田さんの「ツバキの葉っぱで遊ぼう」を皆童心に返り、賑やかに遊んだ。</p> <p style="text-align: center;"><資料>今月の樹「ヒサカキ」(児玉) 早春の樹木観察(児玉)</p>
まとめ 感想	野外観察に出かけるころには暖かくなり、この時期にしか見られない植物の様子をじっくり観察できた。又ツバキの葉笛が鳴るようになった時の皆様のにこやかな顔がとても印象的でした。



コナラ



ザイフリボク



コバノミツバツツジ